

# Organic Chemistry Seminar

## 講演会

### From Donor-Acceptor Complexes to Nanorods

■ **講師:** Alexey Timoshkin 教授

サンクトペテルスブルク州立大学  
(ロシア連邦)

■ **日時:** 2010年7月2日(金)

**15:30-17:00**

■ **場所:** 自然系学系棟B215



ティモシキン教授は、ロシアを代表する若手理論/計算科学研究者の一人です。窒化アルミニウムの化学気相蒸着(chemical vapor deposition, CVD)や窒化ガリウムナノロッドの生成など、13族-15族ドナーアクセプター化合物とそのオリゴマーの安定性および反応性の系統的な理論研究を基盤とした無機材料生成過程の理論的解明を研究テーマとされています。特に、CVD過程において気相から直接固体(ナノ粒子)が生成する際、オリゴマー生成が重要な反応であることを初めて提唱した理論研究者として知られています。最近の論文(JACS, 131, 3942-3949, 2009)を参考にしてください。

今回、日本学術振興会招聘外国人研究者として来日されており、この機会に本学においても最近の研究成果を講演して頂くことになりました。奮って御参加下さい。

連絡先 関口章(853-4314)